

# 公明党は希望輝く山形をつくりまします!

## 支えます、<sup>くらし</sup>生活の安心!

1. 雇用を守り、就業支援のための「新総合ワークサポートセンター（仮称）」を中心地の公共施設や商業施設に設置します。
2. 学校給食の地産地消を促進して、山形の農業、畜産業、水産業をアジアの高級ブランドに成長させます。
3. 農産物の適地適作化により、米の生産を拡大します。
4. 介護、教育、環境分野の産業を支援・拡大し、雇用を増やします。
5. アジアの観光立県YAMAGATAを目指し、観光産業を拡大させて雇用を増やします。
6. 大学に観光と健康・福祉の専門コースを設置し、研究開発と人材育成を促進します。
7. 「子ども農山漁村交流プロジェクト～120万人・自然の中での体験活動の推進～」の受け入れ体制を整備し、県内市町村の「地域おこし」を促進します。



## 守ります、いのちの安心!

1. 救急医療体制を総点検し、ドクターヘリを導入することにより、救急患者が安心して医療を受けられるようにします。
2. 生涯にわたり、女性特有の病気から健康を守るため、検診体制を整備します。
3. だれもが保育施設を利用できるようにするとともに、病児保育施設を拡充し、小児科医・産科医を増やすことにより、安心して出産・育児ができるようにします。
4. 若い家族の定住化を支援し、だれもが身近に支え合える地域の拠点づくりを推進します。
5. 団塊の世代が80歳代を迎える20年後の山形を想定した医療・福祉プランを策定し、実行します。
6. 学校の耐震化を早急に進め、地域防災の拠点としての学校の役割を強化します。
7. スポーツ立県で健康山形をつくりまします。



## 創ります、未来の安心!

1. 学校給食費の負担を軽減し、食育を推進することにより、子どもたちの心身の健やかな成長を支えます。
2. 支援員制度を拡充し、読書活動を充実させて、子どもたちの学力を向上させます。
3. 公立学校授業料無償化による公私間の格差を是正します。
4. 学校の外の学びを豊かにするために、登下校の安全を確保し、放課後子ども教室を拡充します。
5. 団塊の世代の経験や能力を社会に活かすために「<sup>だんかいくらぶ</sup>暖快倶楽部（仮称）」を設置します。
6. 市民として必要な情報（税、年金などの社会保障、子育て・高齢者支援事業など）に関する知識や技能を学ぶ機会を整えます。
7. 芸術文化の振興条例を制定し、子どもたちへの芸術鑑賞の機会を拡大します。



## 税金のムダ遣いを徹底見直します。

- 総人件費の抑制と県職員定数の適正配置をします。
- 県出資法人の改革を推進します。
- 県内発注工事の地元中小企業への受注機会を拡大します。
- 平均労働単位を含む公共事業コストの適正基準を見直します。
- 山形県内幹線道路のネットワーク化を促進します。
- 自動車重量税を軽減します。



**実現させました!**  
県庁駐車場有料化の取り組み

07年2月に「輝く山形いきいきプラン」（マニフェスト）で約束した県庁駐車場有料化を次のように実現させました。

- ① 09年3月、民間借受の県庁職員駐車場125台分を返還（850万円節約）。
- ② 09年7月、職員公舎の駐車場（1997台分）を有料化（2940万円収益）。
- ③ 県職員駐車場利用者には通勤費支給はありません。通勤費支給より一定の駐車場を確保する事が経費抑制になるので、一部民間借受分（266台）を継続し、更に地権者と値下げ交渉により510万円縮減（05年比）しました。

# 私たちは 「山形希望プラン」を 実現させます!



きくち文昭



おりはら政信

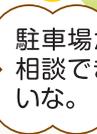


武田しんせい

## 買い物ついでに 「新総合ワークサポートセンター」 で仕事の安心



就職先について、一つの窓口で、何でもわかって、支援してくれる施設がほしいよね。



駐車場が無料で、気軽に相談できる場所だといいな。

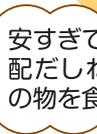
「新総合ワークサポートセンター」を市内中心部の公共施設や大型商業店の中に、民間の力を活用して設置し、次のサービスを行います。

- ①雇用やスキルアップのための情報提供や相談事業を行います。
- ②新たな職に就くための公的な技能訓練事業やさまざまな生活支援のための窓口を設置します。
- ③職場における労働条件や心の健康、さらには子育て中の親への支援に関する相談事業を行います。
- ④NPOやコミュニティビジネスなど、今後必要になる新しい分野も含めた、起業支援事業に取り組みます。

## 給食費支援で 一挙四得



給食費がもう少し安くなると助かるけど、食育も大切よね。



安すぎても品質の面で心配だしね。もっと山形産の物を食べさせたいわ。

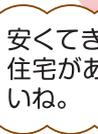
児童生徒一人一日あたり給食費支援100円、食材高品質化(生産者)支援100円、計200円の公費補助で次の四つのプラス効果を実現します。

- ①家計支援:各家庭の給食費一人あたり3~4割節約します。
- ②健康増進:年間16億円の補助金で、食育を重視した地産地消の良質食材を開発し、給食費総額60億円を県内事業者育成に向けます。
- ③山形ブランド育成:良質食材をアジア富裕層に高級食材として提供します。
- ④雇用拡大:良質食材を安定供給する県内生産者の拡大と給食センター方式の普及で雇用を拡大させます。

## 老いも若きも共に支え合う 山形家族 で超高齢社会も安心



近くに子どもも親戚もなくて、買い物も一苦労。先行きが不安です。



安くきれいな公営住宅があれば住みたいね。



山形は少子高齢人口減少の先進県です。その未来を希望輝く世界にする次の9種の事業を実現させ、日本とアジアの先進モデル県にします。

- ①建て替えをする県・市・町の公営集合住宅に、高齢世帯の支援を条件に、若い家族世帯の居住を優先させます。
- ②若い家族世帯に高齢者支援とセットで住宅費の補助制度を設けます。
- ③現在60歳代前半の団塊の世代が80歳代になる20年後の山形を想定して、課題を明らかにします。
- ④20年後に備えて、出産・保育や医療と介護の施設を拡充し、専門家を育成します。
- ⑤買い物難民に代表される日常生活の不安を解消するために、支え合う人づくりと仕組みづくりを進めます。
- ⑥高齢者が気楽にでかけ、集まることができるまちづくりを進めます。
- ⑦これら実現するために、団塊世代が活躍できる拠点として「暖快倶楽部(仮称)」をつくります。
- ⑧だれもが子育てや高齢者の支援に参加できる学習機会を拡充します。
- ⑨上記プラン実現の基盤は命をあずかる医療機関の整備です。そのため、救急医療体制を総点検し、ドクターヘリを導入します。検診体制も整備します。

これらは互いに結びつくことにより、次のように世界中からお客さんを迎える観光プランへと展開することができます。

- 「ア.給食費補助での開発食材→山形ブランド高額商品→アジア富裕層」
  - 「イ.20年後の超高齢社会を想定した医療・介護・福祉のための施設と人」
- この二つを『山形の色彩豊かな四季折々の自然』と結びつけて、
- 「ウ.『食と健康』、『温泉と医療』などを提供するアジアの観光ブランドYAMAGATA」を世界におけて発信します。さらに、
  - 「エ.大学に観光や福祉の専門コースを設置して研究と人材育成を促進」することにより、世界中の人たちに高度なサービスを提供する
  - 「オ.21世紀型雇用」が広がる「希望輝く山形」をつくります。

## 温泉医療、健康食材、風光明媚で アジアの観光ブランドYAMAGATA